

平成 24 年度 研究成果報告書

2012 Research Achievement Report

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 教授
氏名 Name	真嶋 潤子
専門分野 Academic Field	日本語教育学

主たる研究テーマ Principal Research subject	(1)年少者教育と言語教育政策、(2)CEFR (欧州言語共通参照枠) と評価
<p>(1) 平成 23 年度までの科研費の調査を延長していたものが終了したので、平成 21 年度-平成 23 年度科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究成果報告書 課題番号 21610010 研究代表者 真嶋潤子 『日本語母語児童への国語教育と非母語児童への日本語教育を言語環境から再構築する試み』(385 頁) を編集発行することができた。(2012 年 7 月 31 日) そこに所収の執筆論文は以下の通り。</p> <p>真嶋潤子 (2012) 「日本の公立小学校に学ぶ中国ルーツの児童の二言語の能力評価 - 「何もなくさない日本語教育」のための基礎研究-」</p> <p>櫻井千穂、孫成志、真嶋潤子 (2012) 「ある日本生まれの中国ルーツ児童の二言語能力変化と可能性に関する実態報告」</p> <p>前年までに引き続き、研究地である K 小学校に何度も赴き、管理職や教員との意見交換、さらに保護者会にも参加し、言語的マイノリティ (本調査では中国ルーツ) の子どもたちに関わる情報を収集している。来年度の調査協力体制も整えることができた。別の K 市教育委員会との意見交換で、別の小学校への教育支援を模索中である。</p> <p>また教育現場への貢献を目的とした活動としては、昨年度に引き続き、大阪府教育センターにおいて多言語環境にいる子どもたちに関わっている教員や研究者、学生を対象とした「多文化多言語環境に育つ子ども (CLD 児) の母語力・日本語力の育成 『多言語対話型評価法』 テスター・指導者養成ワークショップ (旧称: OBC/B-DRA 実践ワークショップ)」の実行委員会を組織し、3 日間のワークショップを行った。(2013 年 3 月 27-29 日)</p> <p>(2) ヨーロッパの大学における日本語教育現場で活発に CEFR (欧州言語共通参照枠) を活用している機関 (ドイツのベルリン自由大学とボン大学) を訪問し、意見交換した。(2012 年 3 月) その縁もあって、大阪大学日本語日本文化教育センター主催、大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻共催「大阪大学日本語・日本文化国際フォーラム: ヨーロッパの日本語教育の現場から」が実現し、参加協力できた。(2013 年 3 月 25 日)</p>	